

【作り方説明書】

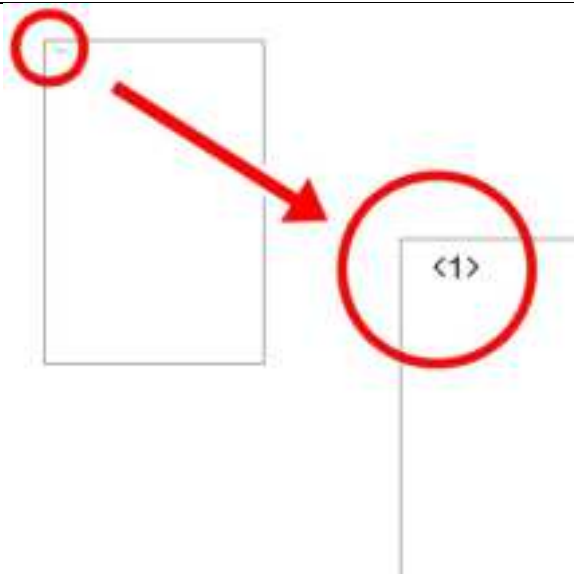
タートルネックの型紙【25cm】

<p>■詳細対応サイズ</p> <p>・25cm</p>	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地 of 厚み</p> <p>0.69mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニット等のストレッチ性のある布 ・ニット用の糸 ・ニット用の針 ・面ファスナー
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■注意事項</p> <p>布の伸び具合によっては、LL 胸は着られない場合があります。</p> <p>LL 胸に着せたい場合は良く伸びる布を使用して下さい。</p> <p>伸びない布を使うと、どのサイズでも着用不可になりますのでご注意ください。</p>
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①後身頃 A 1枚→そのまま1枚</p> <p>②後身頃 B 1枚→ //</p> <p>③前身頃 1枚→ //</p> <p>④⑤袖 2枚→左右反転して2枚</p> <p>⑥襟 1枚→そのまま1枚</p> <p>合計：6枚 のパーツで構成</p>	
<p>■必要な布量参考数値</p> <p>【タートルネックの型紙 25cm】</p> <p>横90cm, 110cm, 140cm</p> <p>縦14cm</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前身頃</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">後身頃</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">袖</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">襟</div> </div>	

01. 型紙を貼り合わせる

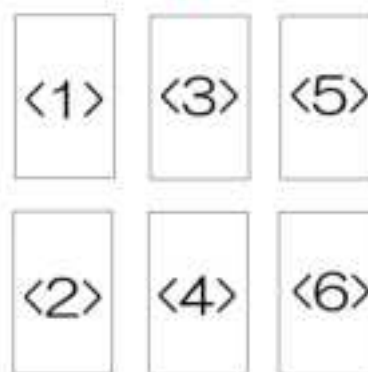
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載。
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。〕

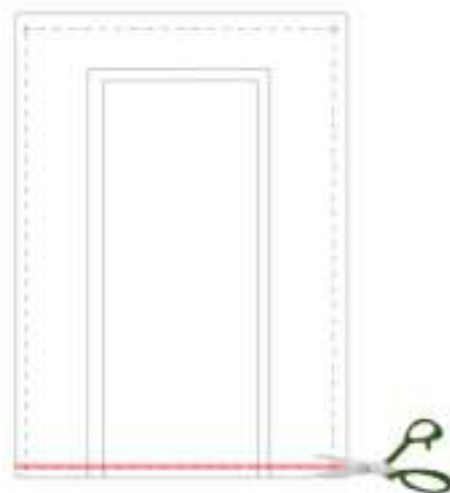


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

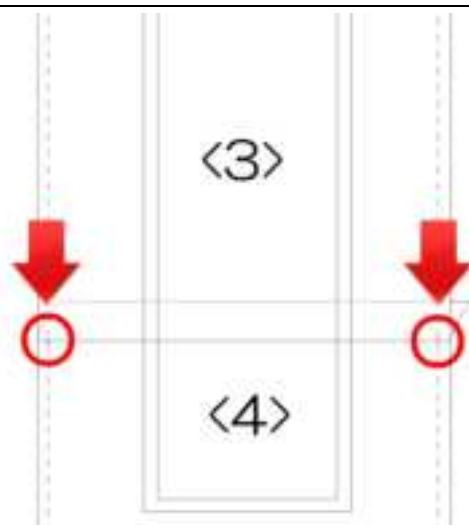
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

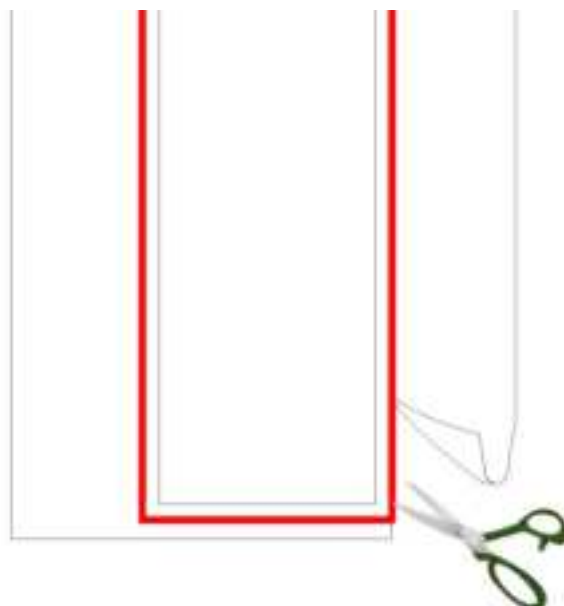


④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



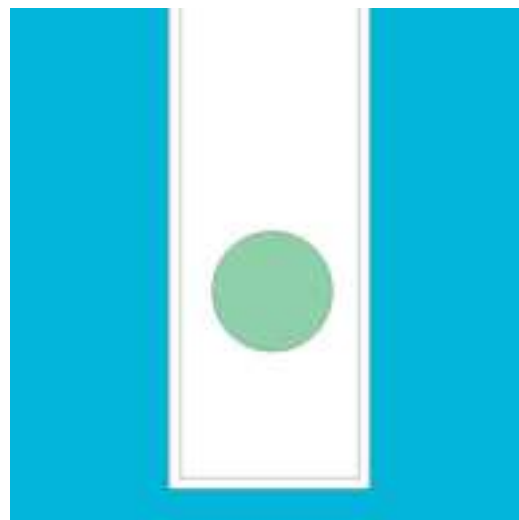
02. 型紙を切り取る。

[02~07 の右図は全型紙共通で使用しています。



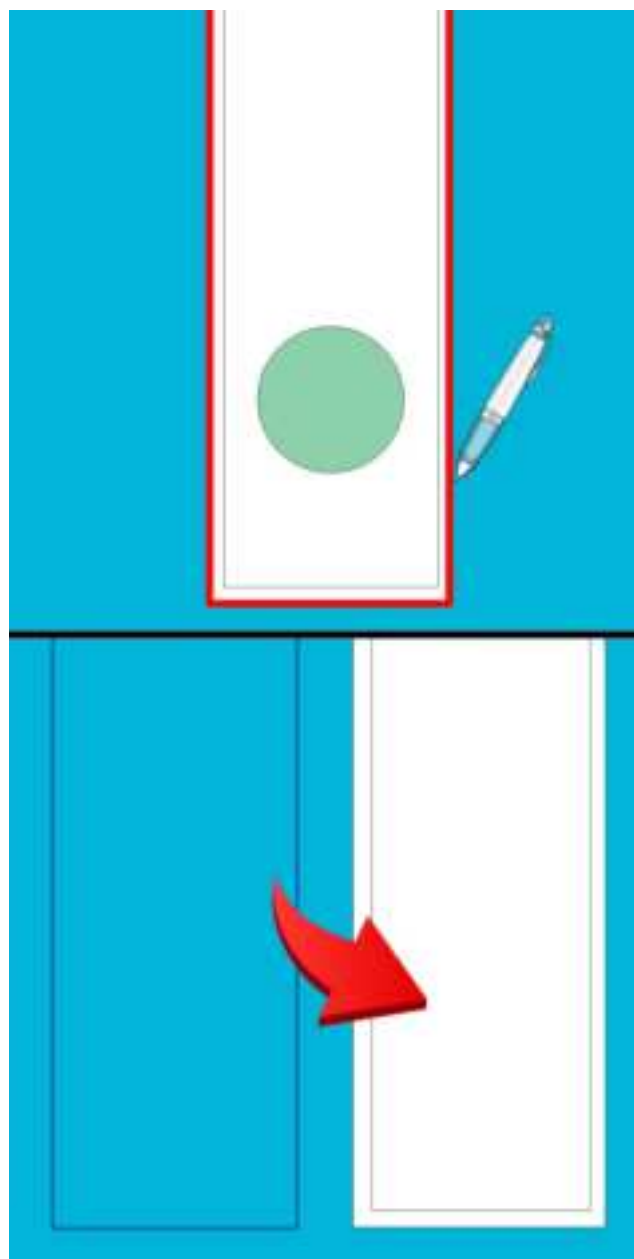
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕



04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン〕

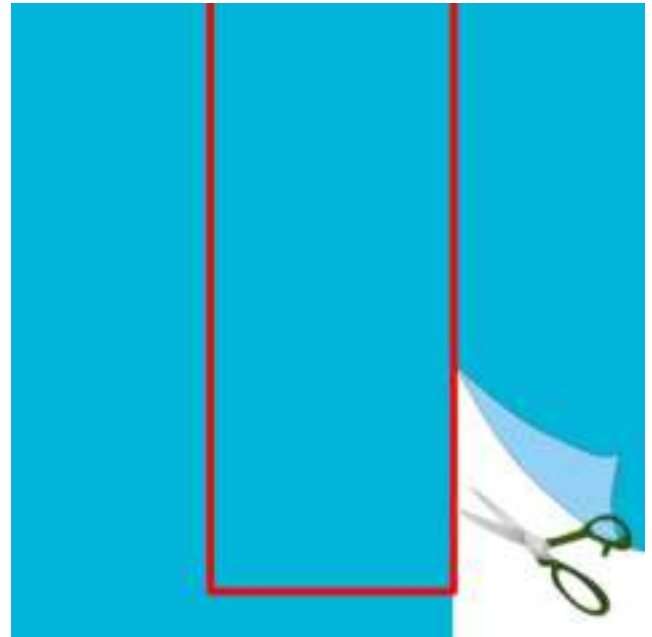


05. 04 で写した線に、一周ぐるっと解れ止め液を塗布する。

〔 解れ難い生地の場合は、この工程を飛ばして OK。
生地によっては解れ止め液が染み込み過ぎるので、
生地の切れ端でどのくらい染み込むのかチェックすると良い。〕

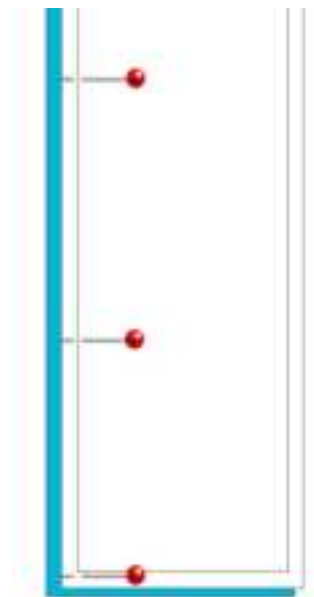


06. 塗布した液が乾いたら、04 で写した線で切る。



07. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



08. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

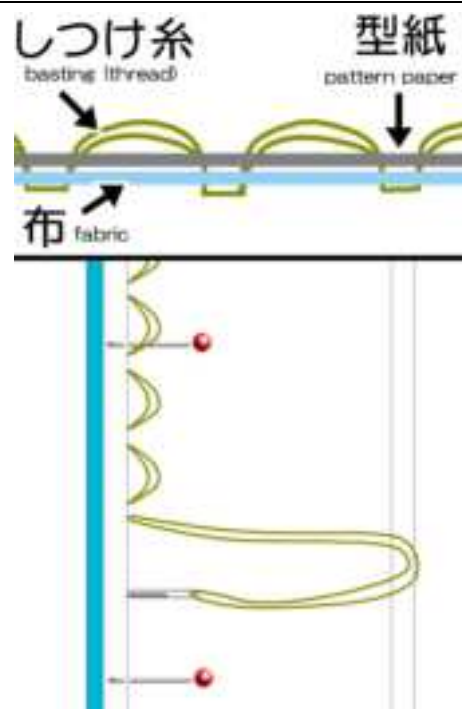
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

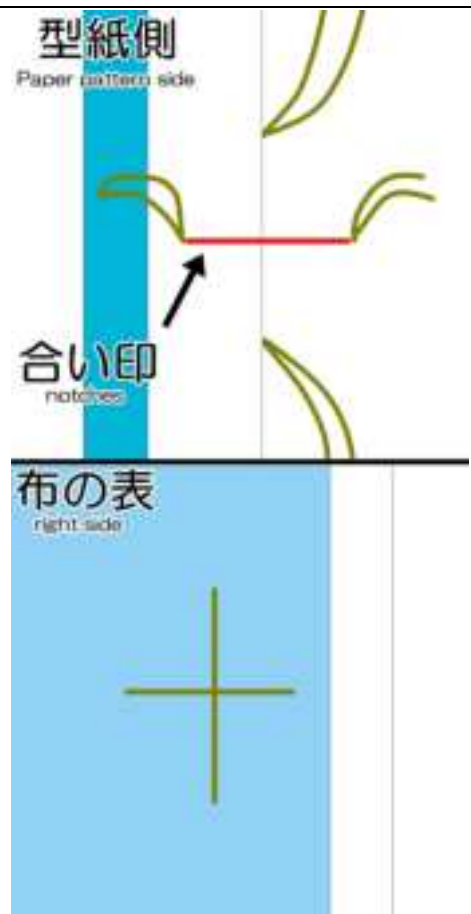
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



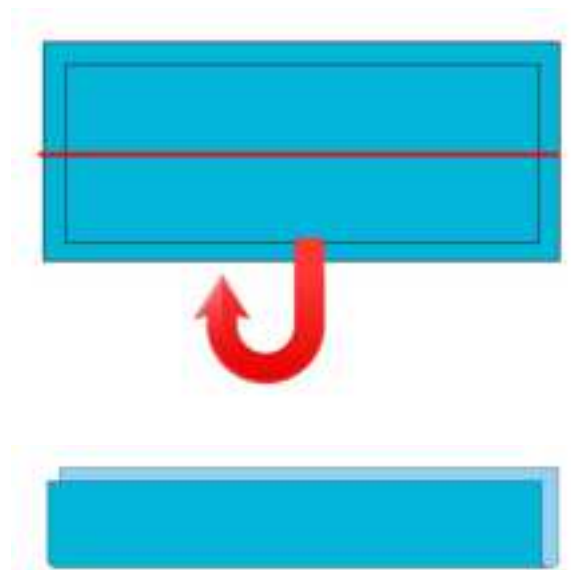
- ⑧ しつけ糸が抜けないうちに、アイロンか指で糸を寝かせる。



09. ミシンの針と糸をニット用に替える。



10. 表が内側になる様に、襟を真ん中で折る。



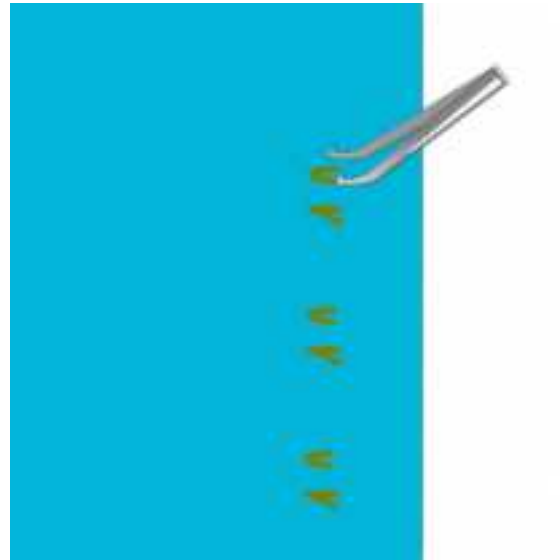
11. 襟の両端を縫う。

〔縫〕 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。

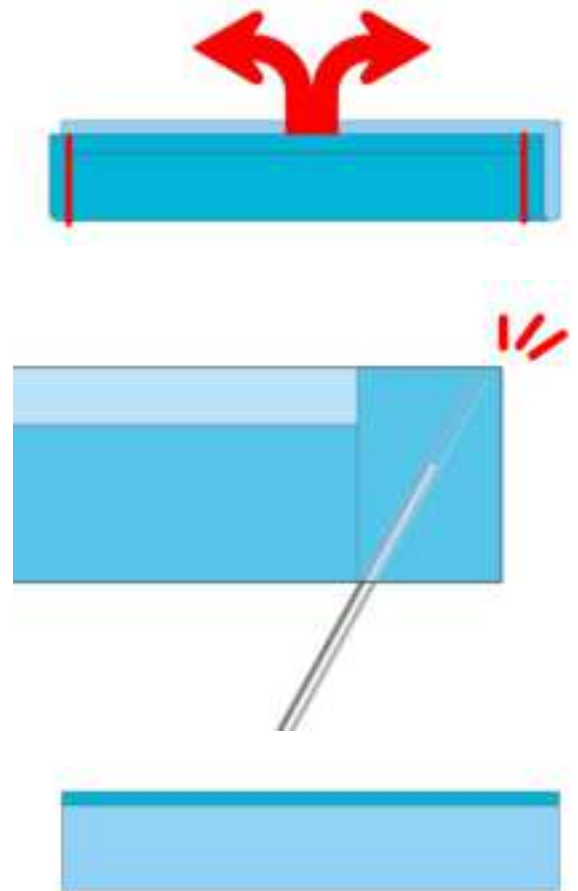


12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

〔しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。〕



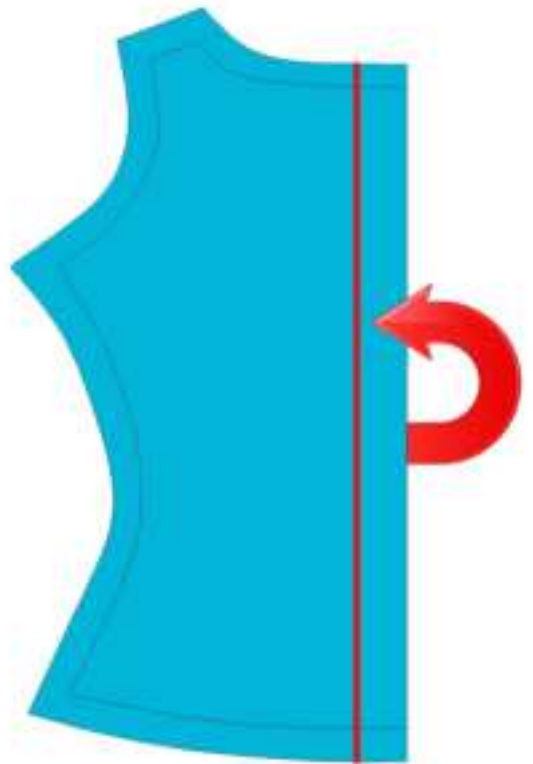
13. 表に返して、太い針の“糸を通す方”
で角を優しく押し出す。

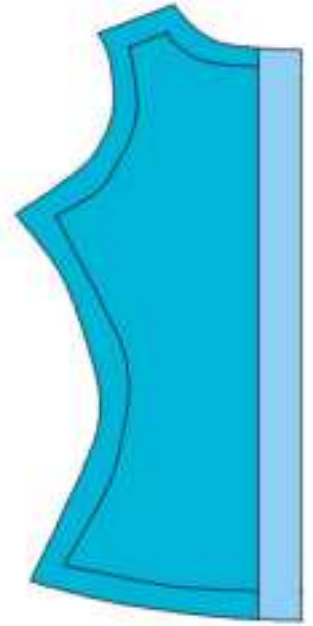


14. 袖口を出来上がり線で折って縫う。
〔反対側も同じように縫う。〕



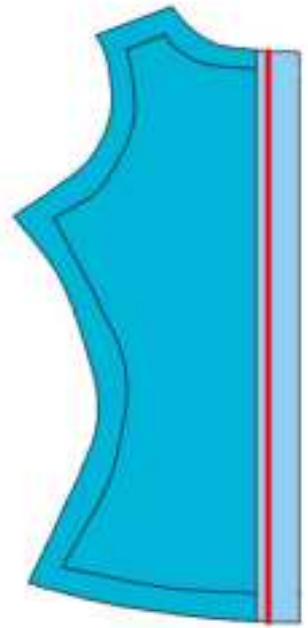
15. 後身頃の“谷折り”を折る。
〔反対側も同じように折る。〕





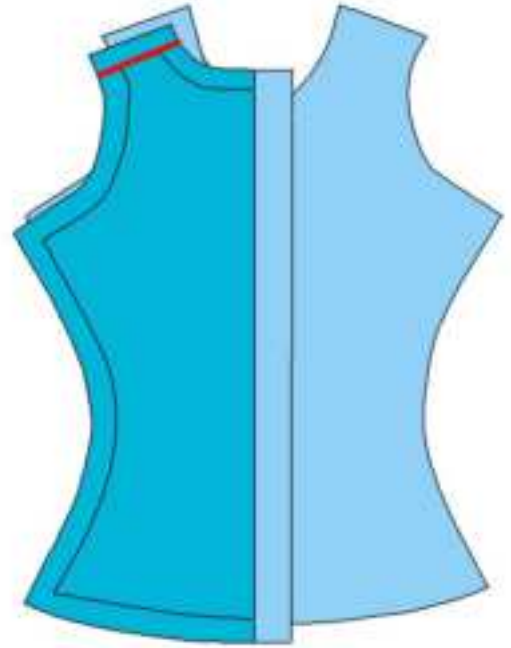
16. 折ったところを縫う。

- 〔 出来上がり線から 0.5cm くらいのところを縫う。
- 〔 反対側も同じように縫う。



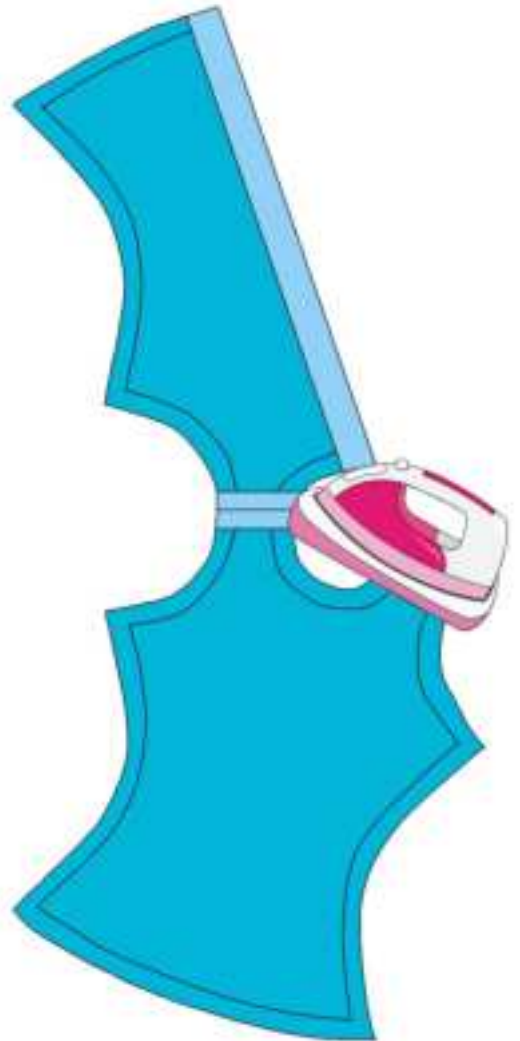
17. 表が内側になる様に、
前身頃と後身頃の肩を合わせて縫う。

- 〔 SNP：サイドネックポイント。肩の首の付け根。
- 〔 SP：ショルダーポイント。肩の頂点。
- 〔 反対側も同じように縫う。



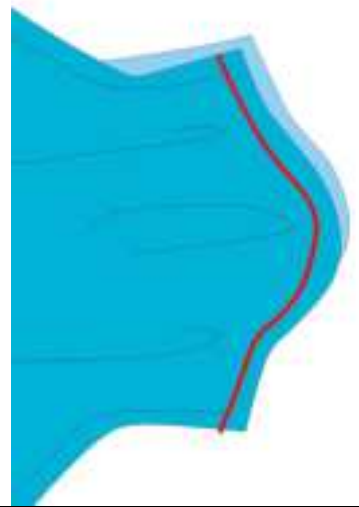
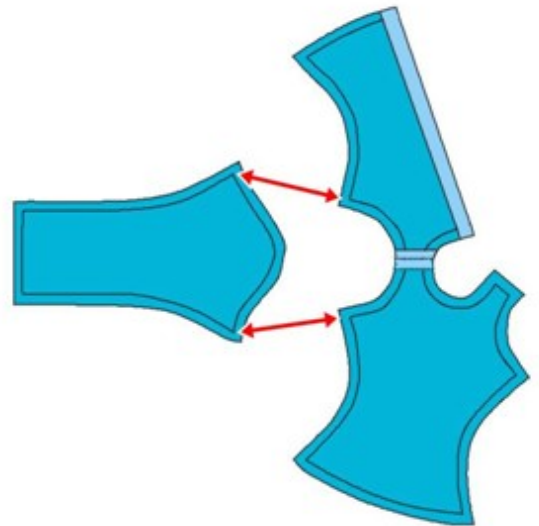
18. 縫い代を開いて、アイロンを掛ける。

- 〔 反対側も同じように縫う。



19. 表が内側になる様に、袖と袖ぐりを合わせて縫う。

〔 ミシンで縫い辛い場合は先に仮縫いをするか、
手縫いでも OK。
反対側も同じように縫う。〕



20. 身頃に襟を合わせる。



21. 出来上がり線で縫う。



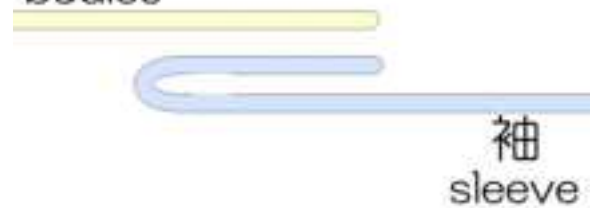
22. 裾から袖口までを縫う。

袖ぐりの縫い代は後身頃側に倒す。
反対側も同じように縫う。



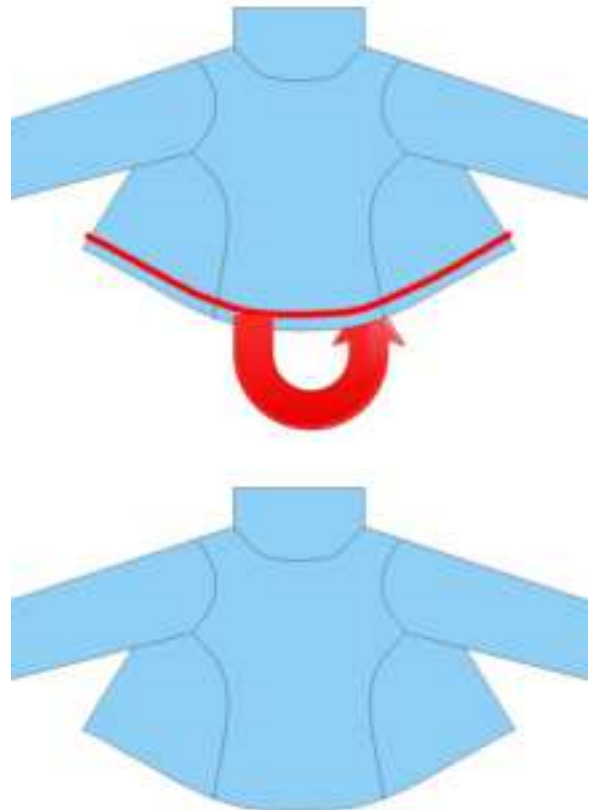
横から見た時
side view

身頃
bodice



袖
sleeve

23. 出来上がり線で折る。

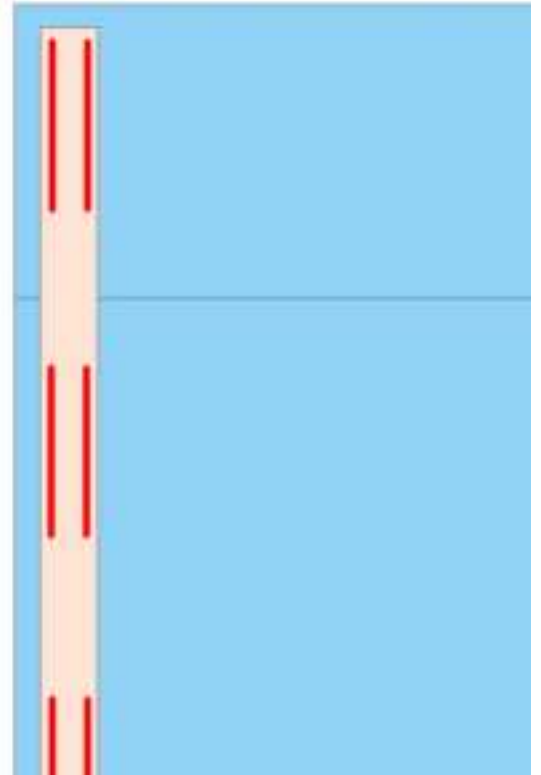


24. 縁を縫う。

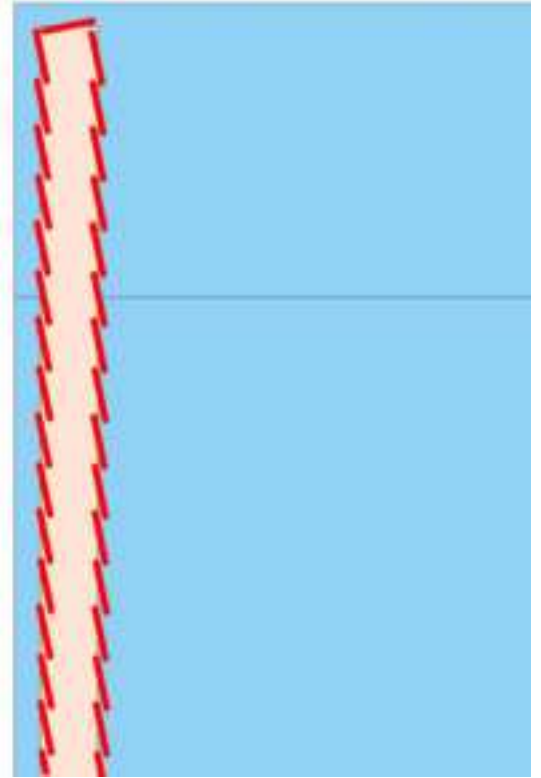
〔脇の縫い代は後身頃に倒す。〕



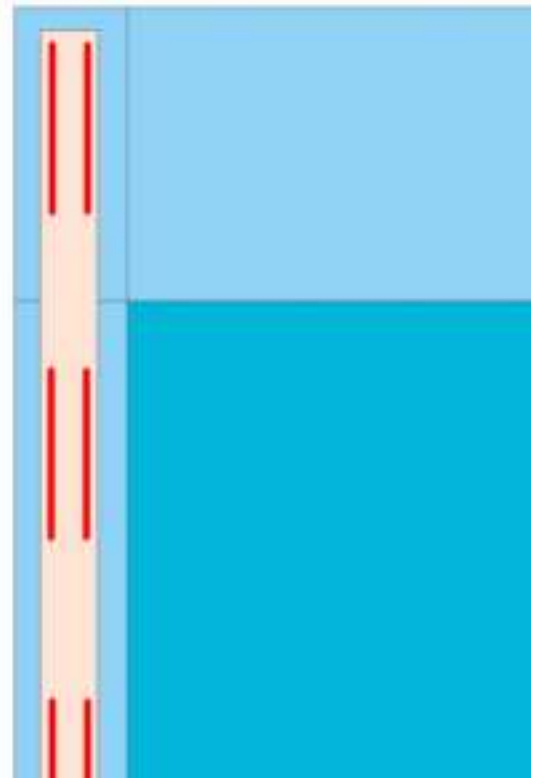
25. 後身頃右側の縫い代に面ファスナーを仮縫いでとめる。



26. 仮縫いした面ファスナーの周りをまつり縫か
ミシンで縫い付ける。

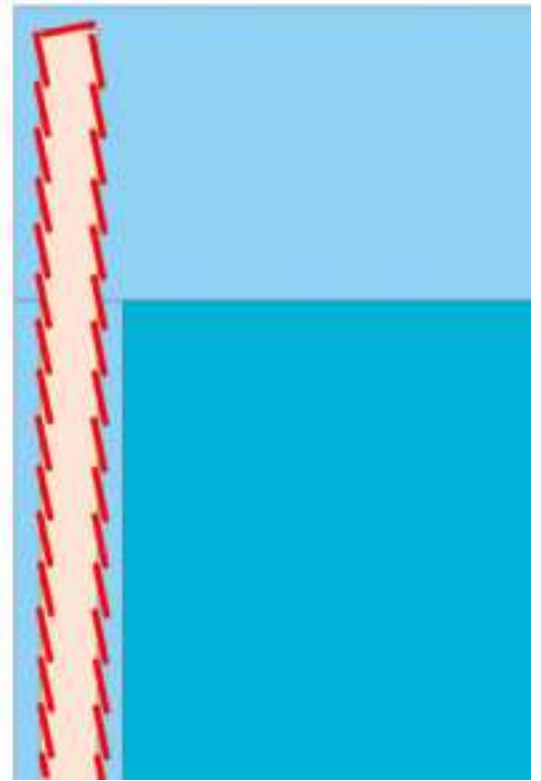


27. 後身頃左側の縫い代に面ファスナーを仮縫いでとめる。



28. 仮縫いした面ファスナーの周りを
まつり縫かミシンで縫い付ける。

[布の表に縫い目が出ない様に気を付ける。



お疲れ様でした！